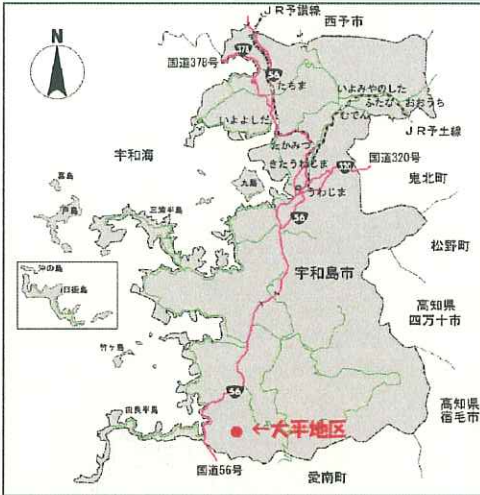


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	“牛鬼の里 うわじま” 消えない集落づくり事業
対象地域	えひめけんうわじまし 愛媛県宇和島市
対象地域の概要	【位置図】   【荒廃が進む家主不明の空き家と耕作放棄地】  
提案内容の概要	消滅が危惧される集落（大平）の歴史や暮らしを後世に残す仕組みを作り、空き家や耕作地の管理を行う組織を確立する。 また、離村者の帰省と交流頻度向上のため、かつての伝統行事の復活を呼びかけ、小さな都市農村交流事業を実施するとともに、拠点となる施設（へんろ休憩所を兼ねる）を地元の間伐材で製作する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	＜昨年度選定による活動で判明した問題点＞ 1 地域調査により、既に村落共同体及び、周辺集落での集落活動に限界が来ている。 2 支援者につながる人材の高齢化 3 T型集落点検による集落住民13名に対する離村血縁者（盆暮れ正月には帰省）が56名もいたことが判明。 4 限界集落問題や、コミュニティ維持に対する全市民的意識の低さを実感 5 耕作放棄地や空き家管理の深刻化が露呈。 ＜対する課題＞ 1 「新たな公」となる組織確立と運営資金確保 集落記録の収集を継続し、拠点（丸太小屋）づくりの具体的な動きをすすめるため、「新たな公」となる組織づくりと、安定した運営資金を確保する方法の確立。 2 時代を担う人材の育成 次世代につながる人材の育成と強固なネットワークづくりの推進。 3 血縁関係者にターゲットを定めてのグリーンツーリズム事業の実施 血縁者や関係者限定の集落行事や祭事の復活などを行いながら、一番かわりの深い人たちに、ふるさとを感じてもらえる事業の実施。 4 市全域にて、集落における記録保全活動の啓発と支援 集落の記録をとる活動や将来について考える機会を他地域に啓発 5 耕作放棄地、空き家、水利等の調査と保全活動 耕作放棄地や、空き家、水利等の調査を行い、集落の環境を保全。

(2) 活動内容の案	活動①：集落調査と記録収集
	内容： 平成20年度実施事業にて、「大平限界集落調査」を策定したが、事業開始時期が秋となったため、前半の暮らしに関する記録が不十分。 また、離村者への取材も不十分のため、引き続き、集落の記録収集を実施する。
	活動②：血縁者や支援者にターゲットを絞った都市農村交流
	内容： 集落の財産を引き継ぐのは、血縁者など住民にゆかりのある人材が一番安全であり、抵抗感が少ない。そこで、現在集落を離れ、年二回程度の帰省を行っている住民のご子息や、ゆかりの方々をターゲットとして、無くなってしまった盆踊りなどの復活を呼びかけながら、小さな都市農村交流イベントを実施し、ふるさとの良さを再発見してもらうことにより、帰省の頻度を高める。
	活動③：丸太小屋大作戦の実行と「新たな公」組織の法人化 内容： 活動2における小さな都市農村交流を実施するために、集まりあえる拠点を間伐材で製作にかか る。建設予定地は、柏坂へんろ道との交差点とし、歩きへんろの休憩所および接待所としての機能 を兼ねることとする。また、これにより、広がり行く支援者を巻き込み、「新たな公」組織の法人化 を実施する。
応募団体名	うわじまにじいろツーリズム協議会
リンク	http://www.city.uwajima.ehime.jp/
部局／担当者名	うわじま虹色ツーリズム協議会事務局 大塚 志織 （宇和島市商工観光課）
連絡先	0895-24-1111 shoko@city.uwajima.lg.jp
推薦市町村	愛媛県宇和島市